

## 学会参加報告書

## M&M2023 材料力学カンファレンス

慶應義塾大学大学院 理工学研究科  
小茂鳥研究室 修士2年 笠井 大剛  
小茂鳥研究室 修士1年 青木 智史

私たちは、2023年9月27日~29日に筑波大学で開催された、日本機械学会 M&M2023 材料力学カンファレンスに参加し、研究発表を行いました。本学会では、金属に限らず多くの材料に関する研究、さらには機械工学に関する幅広い分野での研究発表が行われました。また、4年振りとなる懇親会実施等も含めたフルラインアップでの開催とのことで、私たちの参加した「材料の疲労挙動と損傷評価 表面処理および継手1」のセッションでも、多くの参加者による活発な議論が行われました。

### ●笠井 大剛

私は「SCM420H 鋼の疲労特性向上を目指した環境親和型固体浸炭プロセスの開発」の題で発表を行いました。

最後に、今回の発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、発表の準備など様々なサポートして下さった本研究室博士課程3年の羽山さんに御礼申し上げます。

### ●青木 智史

私は、「高周波焼入れを施した SCM440 鋼の軸荷重下における疲労破面と破壊形態の分析」の題で発表を行いました。今回の発表では、その際の経験を活かして発表をすることができました。

発表後には、2名の方からご質問をいただくことができました。いずれの質問も研究の本質に関わるものであり、また今後の研究指針を定めるために重要な事柄であったため、非常に有意義な時間となりました。最後に、今回の発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、発表の準備をサポートして下さった本研究室博士課程3年の羽山さんに御礼申し上げます。



会場にて